

生活クラブ・福祉クラブの組合員リーダーとさんえすクラブ全会員参加により

さんえすまつり (仮称) を開催します

交流企画部会長 (株)カワグチ企画 川口 圭

さんえすクラブ本年の最大のイベントであり、更なるさんえすクラブの発展に向けて、より多くのそして質の高い交流会を開催していただくための交流会プレゼンテーション企画です。

ここまですらおよそ2年。たくさんの時間といろいろな方の意見で開催までに至りました。本年度の総会で承認、研修会では開催日の連絡と話し合い、7月21日の生活クラブとの定期協議会では最終確認が行なわれましたので、ここに案内します。

参加組合員は「リーダー層」の120名。ここにアピールできることは皆さまにとってまたとないビジネスチャンスだと思います。一般市場ではクレームは宝とされていますが、組合員と触れ合えること、声を聞けることで「良いこと・悪いこと・改善・改良」など大手企業が欲しがる情報を生活クラブ・福祉クラブと取組をしているからこそ聞くことができます。

本年度方針にもあったように『全会員の参加が絶対です!!!』

消費材をお持ちでない会員も気軽に参加できる交流会です。生活クラブ・福祉クラブに関連する生産者として魅力ある活動を行なっていると思います。その活動はあまり組合員には知られておりませんが、事業を行なう中で重要な生産者ですので、その活動を組合員に知ってもらいましょう。

皆さまの活動に必ずや大きな糧となり、ビジネスの幅が広がっていきます。

東日本大震災以降、人と人との「繋がり」が重要となってきています。組合員と生産者との「繋がり」があることが生活クラブ・福祉クラブ・さんえすクラブの最大の特長です。その繋がりを再確認し、今後の皆さまの活動に繋げていくことが目標ですので、日頃お忙しいとは存じますがご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

●開催場所：オルタ館

●開催日時：2011年12月7日(水)

10:30～12:30で2時間程度を予定

●開催趣旨：組合員リーダーに向けたプレゼンテーションとし、
「気軽な参加や組合員と生産者との触れ合い、楽しい交流」

●内 容：

1. テーマ 「10分間」での各生産者からの交流会企画や取組の提案

2. 進め方

(1)交流会企画提案方法

①参加予定数 組合員：参考パターンとして120名程度予定
(各地域生協・福祉クラブより各20名程度)
生産者：20社程度

②全体(組合員・生産者)を5つのグループに分ける。

(※120名程度を予定した場合)

24名が1グループとなり、4生産者からの交流会企画概要等の説明を行ないます。

1生産者の持ち時間 10分×4生産者=40分 →

③試食や体験ブースについて

各生産者それぞれがブースを設けて試食や体験等のアピールやデモを行ないます。(次ページへ続く)



研修会でのグループディスカッションとプレゼン

【4生産者】×5グループ=20社
↓各10分
【24名】×5グループ=120名

④個別相談ブースの設置

終了後、30分間程度、会員はブースに残り、より具体的・現実的に実現に向かうための質問や打ち合わせなど行なえる時間を設け、実際の開催に向けて個別相談を行ないます。

※1 生産者での交流会や複数生産者による交流会、交流時間長い短い、方法、フロアアピールなど…まだまだ様々な可能性が交流会にはありますので、思うこと・ひらめいたことなど気軽な感じで相談や意見交換できる場とします。

(2)タイムスケジュール

♪全体会 10～15分（当日の内容の説明）

♪企画提案 50～60分（移動時間等含む）

♪試食・体験 30分

♪個別相談時間 30分

♪フリー解散 ※閉会式などは行なわず、個別相談等が終われば解散とします。

合計 2 時間程度



定期協議会で開催内容を討議

生活クラブ40・30まつりが開催されました!

7月7日～10日 生活クラブ生協全デポーにおいて開催され 多くの会員が参加しました!

この度は、生活クラブ神奈川40周年・デポー30周年の記念事業「生活クラブ40・30」にご協力いただきありがとうございました。このような節目のお祝いを、会場も日程も分散して行う新しい試みでしたが、組合員、生産者、ワーカーズ組織、運動グループの大ぜいの参加で生活クラブ運動とデポーの魅力を楽しく伝えることができました。のべ来所人数は約18000人。デポーフロアに笑顔のあふれた4日間となり、改めて皆様のご協力に心から感謝します。



生活クラブ神奈川40周年記念事業の基本方針は「人間が人間らしく生きられる社会～連帯社会の実現を求めて私たちは協同します」です。市場原理主義、経済効率最優先がもたらしたさまざまなひずみは人々の暮らしをおびやかす、人々を孤独にしてきました。でも、私たちが望むのは人間が人間らしく生きられる社会です。お互いを尊重して、人と人が力と心を合わせてつながって、自分たちの望む暮らしや社会をつくる協同組合のしくみが、今、その重要性を増していると思っています。

「生活クラブ第9次中期計画（2011～2015）」では、デポーを「生活クラブ運動を広げ、深めるための拠点」として位置づけ、新規デポー建設も含め活動の活性化を方針としました。デポーフロアには、常に消費材があり、組合員・ワーカーズ・生産者がいます。消費材の美味しい食べ方や使いこなしなどの知恵を得ることもできるし、人と人とのつながりとその大切さを実感できる場でもあります。生活クラブの魅力がすべて揃ったデポー。今回の40・30ではそのことを改めて実感しました。



私たちの一番身近にいる生産者「さんえすクラブ」の皆さんだからこそ、デポーを使ってもっとおもしろいことができるのでは?いろいろなアイデアをどんどん提案してほしいな!と期待しています。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

生活クラブ神奈川 副理事長
生活クラブ40・30ユニオン連絡会座長
一政 伸子

さんえすクラブ情報部会より

Webサイトにぜひ情報をお寄せ下さい

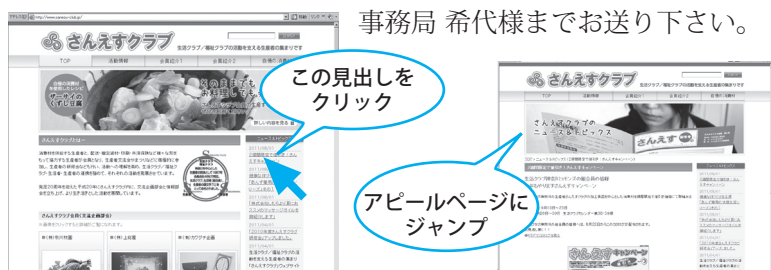
ニュース&トピックス毎月更新します。
積極的な貴社アピールをお願いします。
消費材・製品情報、イベント情報、企業活動紹介etc

「さんえすクラブ」で検索 最新情報をご確認下さい。

さんえすクラブ

検索

★毎月20日までに、PDFと見出し文面を生活クラブの事務局 希代様までお送り下さい。



さんえすクラブ会員紹介

全労済神奈川本部

所在地：横浜市港北区新横浜 2-4-9
 県内店舗：新横浜・溝の口・川崎・横浜・藤沢・平塚・相模大野
 契約件数：160万件（神奈川県）
 契約高：32.3兆円（神奈川県）



県本部

マイカー共済
 頼れる補償を手頃な掛金で！
 基本小乗車 月払掛金 1,770円
 標準乗用車 月払掛金 2,460円
 高級乗用車 月払掛金 3,500円
 軽自動車 月払掛金 1,210円
 高級軽自動車 月払掛金 1,680円
 無制限

全労済の正式名称は「全国労働者共済生活協同組合連合会」といい、47都道府県労済と8職域生協・3生協連合会の58会員によって構成され、組合員の生活を守り、豊かな社会にしていけるために共済事業を行う協同組合です。

事業活動に関して

全労済では、「住まい」「くるま」「生命」「医療」「老後」などの保障分野で各種共済を取り揃え、ご自身にあった必要保障額による保障の見直しを行うことで家計支出の軽減をはかり「豊かで安心できるくらしづくり」を目指しています。その中で生活クラブ・福祉クラブの組合員の皆様には「くるま」の保障である「マイカー共済」をご紹介します。



ショップ窓口

一般加入者よりも平均で約10%の割引掛金でご加入いただけることや長期間無事故のドライバーに有利な最大22等級64%割引の適用、そして事故によるけがを補償する人身傷害補償では、実損害額に加え別枠で「自動車事故見舞金」がお支払いされるなど全労済ならではの充実した補償内容でご好評をいただいております。また顧客満足度調査では、損害保険（共済）業界1位（平成21年度調査、経済産業省ホームページ掲載）の評価をいただき、今後ともより一層組合員の皆様にご満足いただけるよう引き続き努力してまいります。

マイカーパンフ

株式会社ニッコー

㈱ニッコーは昭和59年に創立して、今年で28年になります。創業当初の製品は「天津包子肉まん」が最初で製菓業としてスタートしました。当時としてはまだ少なかった食品添加物を使用しない加工品を作るメーカーとして家庭で作る味を基本に手作りでお届けしていました。現在では創業者の出身地である熊本でも工場を持ち、様々な冷凍食品の 카테고리を組合員の皆様にお届けするようになりました。



地場産なすを使った
 麻婆茄子丼

企業活動に関して

「自分の子供に安心した食べさせられる食品を作る」をモットーに製品の開発をしてきました。また、社内では「掃除」と「挨拶」を基本に従業員理念を持ちながら日々の訓練をしています。毎月1回定例として大和駅の街頭掃除などもボランティアとして行っています。おすすめの消費材として、やはり一番人気は「豆腐だんご、お弁当用」ですが、着々と支持を集めているのが昨年発売した「大学いも」です。この消費材は苦労に苦労を重ねて完成した消費材で、結果的には本格手作りで完成しました。その甲斐あって、組合員の皆様からの「美味しかった」という言葉を何度となく言って頂き本当に作って良かったと改めて感じています。



みんなで掃除



大変だった大学いも

製造部よりのコメント

「安全な食べもの」へのこだわりに応えられるよう原材料の仕入から仕込み・製造・出荷それぞれを担当する従業員全員が力を合わせて喜んで頂ける消費材作りに努めております。自然を壊さない生活クラブ生協のモットーにつながるよう今後も頑張っ参ります。今後とも宜しくお願い申し上げます。 製造部責任者（常務取締役） 青柳俊博

役員会報告

さんえす事務局長 中村 秀一郎
(株)浜 食

5月下旬から6月初旬にかけて開催された、各生協総代会へ、下記の通りに出席しました事を報告致します。

5月27日	横浜北生活クラブ生協	1名参加	5月27日	横浜みなみ生活クラブ生協	1名参加
5月31日	かわさき生活クラブ生協	1名参加	5月27日	さがみ生活クラブ生協	1名参加
5月31日	湘南生活クラブ生協	1名参加	6月1日	福祉クラブ生協	1名参加
6月10日	生活クラブ生協神奈川	2名参加			

訃 報

平成 23 年 3 月 23 日 さんえすクラブ会長 (株式会社 豆彦) 今井 義人様のご逝去されました。
3 月 25 日の通夜、26 日の告別式には、さんえすクラブ、生活クラブ、福祉クラブからも多くの方々が出向し、ご生前のご功績を偲び、ご逝去を悼みました。謹んでお悔やみ申し上げます。

交流企画部会 報 告

交流企画部会長 川口 圭
(有)カワグチ企画

さんえすまつりの日程も 12/7 と決まり、今年度の一大イベントがいよいよ動き出します。部会としても円滑に運営していくために活動を活発化していかなければなりません。また、このところさんえす交流会も回数が増えてきており良い傾向が見えてきています。組合員との交流は楽しいです♪♪♪

情報部会 報 告

情報部会 田島 敏夫
(株)カジノヤ

お待たせしました。4 月よりさんえすホームページが開設されました。立ち上げた 4 月は 559 件のアクセス数でした。アクセス方法は、生活クラブのホームページ経由が 42% と最も多かったです。震災の影響等もあり、7 月までは一度も更新出来ておりませんでした。さんえすの活動を知って頂く為に、積極的に更新を行いたいと思います。

●ふくしまつりに参加しました。

●(株)カジノヤ：宮下正一さん

去る 6 月 5 日日曜日は逗子会場の福祉まつりに参加しました。時期を逸してしまいましたが、ご報告いたします。福祉クラブへは共同購入で弊社の納豆を供給しているため、組合員やワーカーズの皆さんとお会いする機会があまりありません。今回は納豆の量目が多いのではないかと、貴重なご意見をいただきました。この場をお借りして再度御礼申し上げます。ありがとうございました。



●生活クラブ40・30参加報告

●(株)ウェルライフ：斎藤淑子さん

当社も共に生活クラブを作ってきたさんえすクラブの一員として参加しました。4 デポーに参加し、直に組合員や、他の生産者、関連団体の方々と身近に接する事ができ、いろいろなお話を聞くことが出来ました。当社はサプリメントを中心に各デポーに置かせていただいておりますが、直接説明をし、試飲をして頂くことによってより製品に対する理解をしていただいたと思っております。また、組合員の皆さまとともにクイズを出したり、スタンプラリーをしたり、製品を説明したりと一体感を持ったイベントにすることができ、楽しい 4 日間となりました。



生活クラブ事務局報告

1. 今年もデポーさんえすウィークを実施します

9月19日(月)～24日(土)全デポー統一で実施します。期間中各デポーでさんえす生産者と組合員の交流企画とともにフロアーではさんえす消費材のアピールを行います。

2. 生活クラブ消費材の放射能検査体制について

福島第一原発事故に伴う放射能漏れは依然事態の収束が見られず、長期的な対応が必要となります。この非常事態を

受けて、生活クラブでは国の暫定規制値に基づいて供給を継続していますが、本来、放射能が人の健康に影響を与えるしきい値はなく、より影響を受けやすい子供や妊婦をはじめとして、できるだけ避けることが望ましいという考え方にもとづき、9月から連合DCでほぼ全品目の放射能検査を実施します。

連合DCを経由しない、さんえす生産者単協独自品の検査は、生産者の皆さんに自主検査のご協力をお願いするとともに、優先順位を付けながら連合DCへ検

査要請をすすめます。今後素性確かな消費材を供給する上で情報公開が重要となります。共に放射能汚染に立ち向かうために、ご協力をお願いいたします。

3. 東日本大震災カンパ報告

生活クラブグループ全体のカンパ額は2億5千万円を超えました。

生活クラブ神奈川のカンパ金は約7000万円でした。さんえすクラブ会員各社のカンパ金は17社56万3千円でした。被災地単協、組合員、生産者の支援の大きな力となりました。

◆ 2010年度通期データ ◆

1. 生活クラブ組合員人数報告 (11年3月末)

班・戸配	47,780人
デポー	20,272人
計	68,052人
4月～3月拡大数	-796人

2. 生活クラブ供給報告 (4月～3月累計)

班・戸配	160億 387万円 (95.2%)
デポー	44億8369万円 (97.4%)
計	204億8756万円 (95.7%)
一人当たり利用金額	
班・戸配	27,362円

デポー 18,645円

3. 福祉クラブ報告

組合員人数	15,516人 (11年3月末)
供給高 (4月～3月累計)	25億422万円 (前年比 95.9%)
一人当たり利用金額	13,575円